

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築(2011年版) | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都市中京区百足屋町町計	階数	地上5F
建設地	京都府京都市中京区	構造	RC造
用途地域	商業地域・準防火地域	平均居住人員	112人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年9月 予定	評価の実施日	2013年8月29日
敷地面積	972㎡	作成者	
建築面積	735㎡	確認日	
延床面積	3,105㎡	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 91%
③上記+②以外の 91%
④上記+ 91%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.5

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
Q1のスコア = 3.9	Q2のスコア = 3.1	Q3のスコア = 3.3
音環境: 3.2, 温熱環境: 4.7, 光・視環境: 3.2, 空気質環境: 4.0	機能性: 3.3, 耐用性: 3.0, 対応性: 3.0	生物環境: 1.0, まちなみ: 5.0, 地域性: 3.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア = 3.9	LR2のスコア = 3.1	LR3のスコア = 3.2
建物の: 5.0, 自然エネ: 3.5, 設備システ: 3.1, 効率的: N.A.	水資源: 3.4, 非再生材料の: 2.9, 汚染物質: 3.6	地球温暖化: 3.3, 地域環境: 2.3, 周辺環境: 4.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
近景、遠景に配慮した外観とし敷地内緑化を図り周囲の違和感の無い建物として計画している		
Q1 室内環境 居住者の快適な環境を考慮して計画している	Q2 サービス性能 居住者のニーズに対応した設備等利便性を考慮した計画をしている	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内の緑化を努め、周囲の環境に配慮し、外観等も考慮している
LR1 エネルギー 省エネルギー法に準じて設備等の効率化を計り、環境に考慮した	LR2 資源・マテリアル 再利用可能な材料を使用しまた有害物質の発生しない材料を使用した	LR3 敷地外環境 日影等周囲に考慮し汚染物質、騒音等が発生しない様に考慮した

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される